

大学の世界展開力強化事業（平成27年度採択）事後評価結果

大 学 名	長岡技術科学大学、鶴岡工業高等専門学校、茨城工業高等専門学校、小山工業高等専門学校、長岡工業高等専門学校
整理番号	L-6
事 業 名	N A F T A 生産拠点メキシコとの協働による15歳に始まる技術者教育モデルの世界展開

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

総括評価 S	事業計画を上回る成果をあげており、事業目的は十分に実現された。
コメント	<p> 本プログラムは、長岡技術科学大学と国内の4つの高等専門学校との連携を基に、高専一技大型の技術者教育モデルをメキシコの3大学及び新設のグアナファト大学高専コースとの間で展開し、日・西・英のトライリンガルな環境で活躍できる人材の育成と国際的技術者教育モデルの構築・展開を目指し実施したものである。 </p> <p> プログラム展開では、大学院レベルのダブルディグリープログラム及び学部レベルのツィニング・プログラムの構築・拡充、各段階における単位互換制度の検討、並びに評価を伴うインターンシップ制度の確立など、段階に応じた継続的かつ質の保証を伴った交流の制度的枠組の構築を実現した。海外実務訓練は6か月と長期に及ぶが、大学院進学とリンクさせることにより動機付けを行うとともに円滑な運用がなされている。また、高等専門学校生が大学の3年次編入しやすいカリキュラムが整備されている。さらに、ツィニング・プログラムの学生のためのホームステイの仕組みをはじめ、高等専門学校生から大学院生まで幅広い学年層のニーズに即した派遣・受入の環境整備にも工夫が見られ、その結果、目標を上回る派遣・受入学生交流実績を達成したことは評価できる。また、語学力強化プログラムの導入や3か国語による技術者教育の教材開発、国際交流に対応した事務体制の整備、両国の企業と連携したインターンシップ制度の実質化など、プログラム運営にも地道な努力と具体的な成果が随所に認められる。そして、本プログラムを通じて、技術科学分野における指導的・実践的人材の育成を目指す長岡技術科学大学の特色と戦略に沿った大学の世界展開力強化事業が実現されたとともに、近隣の高等専門学校と大学との連携による国際技術者教育及び技術教育を通じた我が国とメキシコの大学間交流の先駆的モデルが構築されたことは、高く評価できる。今後も学生の語学力向上への一層の取組みがなされることを期待する。 </p> <p> 最後に、大学の世界展開力強化事業による補助期間は終了したが、引き続き質保証を伴う発展的なプログラム展開の実施によって、我が国の大学教育を牽引し、さらなるグローバル展開力の強化に寄与されることに期待する。 </p>